

目次

[概要](#)

[問題](#)

[トラブルシューティング](#)

[マイクロトレース](#)

[マクロトレース](#)

[解決策](#)

[関連情報](#)

概要

この資料は Cisco Unity Connection のスピーチ接続機能における音声認識問題を、およびすべてのトラブルシューティングの状況で有効にする必要があるまたトレースを記述したものです。

問題

スピーチ接続機能はディレクトリハンドラにコールを作るとき、尋ねられるようにディレクトリハンドラが音声対応であることを可能にするために使用されます: **だれが達するのを好みますか。**

ただし Unity 接続でスピーチ接続機能を (音声対応ディレクトリハンドラと) 設定してもらったとき、状況によっては、問題に出会います。たとえば、ディレクトリハンドラにコールを作るとき、無音を聞くか、または類似したであるフェイル・セーフメッセージを受け取ります: **現時点で音声認識リソースが十分ありません。** このコールの間に標準タッチトーンを使用する必要があります。

トラブルシューティング

音声認識問題を解決するために、Cisco はこのセクションに説明があるトレースを有効にすることを推奨します。

注 このセクションの情報は [Cisco Unity Connection リリース 8.x のためのトラブルシューティングガイド](#) から参照されます。

マイクロトレース

このセクションは有効にする必要があるマイクロトレースをリストします。

- これらのメッセージ交換開発環境 (CDE) トレースを有効にしてください:

10 状態マシン トレース 22 音声認識文法

- メディアのための 25 ASR および MRCP トレースを有効にしてください: 入出力 (MiulIO)。
- これらの加入者会話 (ConvSub) トレースを有効にしてください:

03 名前付きプロパティ アクセス05 コールプログレス

- 句サーバのための 10 音声認識 トレースを有効に して下さい。

マクロ トレース

マクロ トレースを有効にし、収集するためにこれらのステップを完了して下さい:

1. 音声 ユーザーインターフェイスおよび音声認識 トレースを有効に して下さい。
2. 問題を再現します。
3. これらのトレースおよびログを収集して下さい:

接続メッセージ交換 トレース 接続メッセージ交換 マネージャ ログ 接続音声レコグナイザー
ログ

前の手順を完了した後、diag_CuCsMgr (接続メッセージ交換 マネージャ ログ) を検討し、のた
めに検索して下さい:

これに類似したに検知 する行を見つけるかもしれません:

第 2 行は自動音声認識 (ASR) サーバが 169.254.1.102 の IP アドレスを指すことを示します。
この場合、音声認識はその IP アドレスがないのではたきません。

解決策

この問題を解決するために、Cisco Technical Assistance Center (TAC) ケースをオープンして
下さい。TAC はこの問題を解決するためにルート セッションからこのコマンドを実行する必要
があるかもしれません。このコマンドは Admin プロンプトから実行することができます:

またはコマンドはルートから実行することができます:

これが完了する後、メッセージ交換 マネージャおよびミキサー サービスを再開して下さい。

関連情報

- [Cisco Unity Connection 8.x の音声認識のトラブルシューティング](#)
- [テクニカルサポートとドキュメント - Cisco Systems](#)